



OWS
Research and Education
Non-profit organization
The Oceanic
Wildlife Society

REPORT 2019

2018.04~2019.03

特定非営利活動法人 OWS
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シヤトレ一代々木704



沿革

- 1998年 11月●OWS創立総会開催 渋谷区恵比寿に事務局を設置
- 1999年 02月●北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁に現地事務所設置
06月●ミクロネシア・パラオに現地事務所設置
09月●東京都NPO法人の認証取得
- 2000年 02月●各種会員の募集開始
03月●会報「季刊エブオブ」創刊
08月●公式ホームページ開設
- 2001年 02月●OWS会長にジャック・T・モイヤー氏、副会長に倉田洋二氏
就任
06月●「ネイチャースクール(自然体験プログラム)」開始
- 2002年 01月●「OWSネイチャーガイド養成コース」開始
04月●「アンガウル州立自然公園プロジェクト」開始
09月●事務局を目黒区下目黒に移転
10月●「海のセミナー」開始
- 2003年 06月●「水中ゴミ調査」開始
09月●アンガウル州立自然公園ビジターセンターオープン
11月●「海のトークセッション」開始
- 2004年 01月●ジャック・T・モイヤー会長逝去
05月●長谷川博氏(東邦大学理学部教授)、OWS会長就任
06月●「海辺の自然教室」開始
- 2005年 09月●インド洋クリスマス島においてボランティアプログラム開始
10月●事務局を豊島区雑司が谷に移転
- 2006年 01月●メンバーによる各活動の実行委員会を設置、運営開始
- 2007年 07月●「OWS 5人の写真展(巡回写真展)」開始
- 2008年 03月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」開始
05月●「砂浜海岸生物調査」開始
- 2009年 08月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」探索調査開始
09月●「ネイチャースクール 日帰りプログラム」開始
- 2010年 03月●「造礁サンゴフィールド図鑑～伊豆・三浦・房総編発行
05月●「海辺のナチュラリスト講座」開始
- 2011年 04月●東日本大震災 被災地支援活動開始
06月●ミッドウェー環礁調査ツアー実施
- 2012年 06月●「江奈湾干潟保全活動」開始
06月●「未来に残したい海」プロジェクト・自然観察&カメラ教室開始
12月●子どもフォトコンテスト開始
- 2013年 04月●江奈湾・毘沙門湾干潟生物調査開始00
07月●海洋ゴミ企画展開始
11月●事務局を渋谷区千駄ヶ谷に移転
- 2015年 04月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での造礁
サンゴモニタリング調査 開始・新「サンゴ調査プロジェクト」開始
- 2017年 10月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での魚類調査
開始
- 2018年 09月●OWS創立20周年と国際サンゴ礁年の特別イベントとして、
「海のセミナー2018 海の話・サンゴの話」を開催

組織概要

名称	OWS(オーダブリュエス) (OWSという名称は The Oceanic Wildlife Society (英語表記) の頭文字からとられたものです)		
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレー代々木704 TEL: 03-6432-9917 FAX: 03-5960-3546 URL: http://www.ows-npo.org/ E-mail: info@ows-npo.org		
目的	OWSは、国内外の海洋域における自然環境及び生物とその生態系について、科学的な調査及び研究を行い、その結果得られた情報及び成果の有用な活用とその自然環境の維持・保全を目的とした活動をもって、地域社会に貢献するとともに、環境保護意識の普及を図ることを目的とする。		
役員	会長 副会長	長谷川 博 倉田 洋二	東邦大学理学部名誉教授 元小笠原水産センター所長
	代表理事 副代表理事 理事 理事 理事 理事	横山 耕作 高砂 淳二 森 紀子 宮川 貴子 杉森 雄幸 池上 喜代巻	
	監査役	吉岡 宏治	
	学術顧問 法律顧問	秋山 章男 矢田 誠	元東邦大学理学部教授 新麻布法律事務所 弁護士

2018年度の活動実績

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
環境教育事業	海辺の自然教室の開催 ネイチャースクール(環境学習プログラム)の開催 海辺の漂着物を使ったクラフト教室の開催	4月～12月 6～7月 7月	神奈川 神奈川 神奈川・東京	948,000
普及啓発事業	会報「季刊エブオブ」の発行 学習教材パネル(海洋ゴミの写真パネル)の貸出 環境をテーマとした写真展の開催と出前授業 「海のセミナー2018 海の話・サンゴの話」開催 江奈湾干潟関連セミナーの開催(1回) 「未来に残したい海・子どもフォトコンテスト」開催	年4回 随時 10～11月 9月 5月 7～12月	東京 全国 宮城 東京 神奈川 全国	551,000
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査(国立環境研究所連携) 魚類調査(国立環境研究所連携)	10～2月 10～2月	全国 全国	4,744,000
環境保全協力事業	江奈湾干潟保全活動(ゴミ回収活動等) 干潟生物市民調査、モニタリング調査 対馬サンゴ礁の水中ゴミ回収活動	4～3月 4～3月 11月	神奈川 神奈川 長崎	223,000



●「未来に残したい海プロジェクト」 協賛:オリンパス
海辺の自然観察&カメラ教室+クラフト教室

①06/16 海辺の自然観察&カメラ教室

雨天のため油壺マリンパーク見学 参加者数:20名

②07/08 海辺の自然観察&カメラ教室(城ヶ島)

参加者数:20名

③07/15 クラフト教室 (東京・新宿)

参加者数:40名





● サンゴ礁年特別企画プログラム



- ①06/02 水族館でサンゴ観察 参加者28名
(サンシャイン水族館)



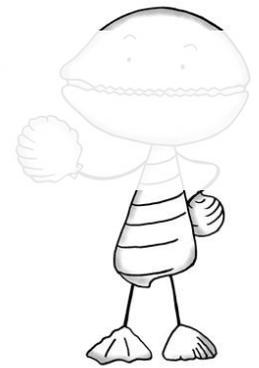
- ②07/07 潮だまりでサンゴ観察(スノーケリング) (東伊豆)

荒天のため中止



開催回数: 4回 延参加者数: 108名

会報「季刊 エブオブ」の発行



● **4月20日発行(春号) Vol.69**

特集:「黒潮の恵み、サンゴの島の時空間」
執筆:中野義勝(琉球大学)



● **7月20日発行(夏号) Vol.70**

特集:「ニホンウナギの保全のために、本当に役に立つこと」
執筆:海部健三(中央大学)

● **10月20日発行(秋号) Vol.71**

特集:「海洋酸性化は生態系にどのような変化をもたらすか」
執筆:アゴスティーニ・シルバン (筑波大学)
樋口富彦 (東京大学)



● **1月20日発行(冬号) Vol.72**

特集:「福島県における水産物の放射能汚染の現状と漁業の復興状況」
執筆:和田敏裕(福島大学)

国際サンゴ礁年特別企画
海のセミナー2018



海の話・サンゴの話

私たち人間が引き起こしてきたさまざまな環境変化や機軸は、海とそこに棲む多様な生き物を変化させ、時には壊滅的なダメージを与えています。こうした現状に私たちは今、何ができるでしょうか？このセミナーでは、第一部で温帯域に棲むサンゴの衰退と未来に向けた保全について、第二部では府が育む多様な生命に目を向け、その声を聴くにはどのような視点を持つべきかについて各講演者の官歴から教訓を伺いいただき、私たちができることについて考える機会にしたいと思っております。

お申込みはWEBで

◆開催日 2018年9月8日(土)

◆開催会場 お茶の水ワテラスコモンホール

海のセミナー14:00~18:15 (開場:13:30) /懇親会18:30~21:30

海のセミナー(講演) 参加費無料 定員100名(先着順) (要事前申込)

◆第一部: 温帯域のサンゴ群集とその保全

- 「紀伊半島の特殊な海洋生物の変動 -40年近くの観察で地球温暖化は検証できたか-」 野村 恵一(串本海中公園センター 水産館館長)
- 「四国のサンゴ群集とその保全について」 中地 シュウ(黒潮生物研究所所長)
- 「環境変化の最前線、北限のサンゴ」 山野 博哉(国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター長)

◆第二部: 海と生きものの声を聴く

- 「苦境に立つ海鳥類」 長谷川 博(東邦大学名誉教授・OWS会長)
- 「海と人の関わり」 高砂 洋二(自然写真家・OWS副代表理事)

懇親会 & OWS創立20周年記念パーティー 定員65名(先着順)

セミナー参加者、OWSメンバーほか、どなたでも参加できます。懇親会だけの参加も可

※立食(25時給以内) 大人:4,500円/高校生以下:3,000円 (要事前申込・支払)

会場: OTTOMO KITCHEN ワテラス (セミナー会場と前フロア)

申込締切:9月5日(定員なり次第締め切ります)



◆共催 NPO法人OWS・国立研究開発法人 国立環境研究所

◆協賛 オリジナル株式会社 OLYMPUS



https://ows-npo.org/event

海のセミナー (講演) プログラム (要事前申込)

◆第一部: 温帯域のサンゴ群集とその保全 14:00~16:35

1 「紀伊半島の特殊な海洋生物の変動 -40年近くの観察で地球温暖化は検証できたか-」



野村 恵一(串本海中公園センター 水産館館長)



2 「四国のサンゴ群集とその保全について」



中地 シュウ(黒潮生物研究所所長)



3 「環境変化の最前線、北限のサンゴ」



山野 博哉(国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター長)

◆第二部: 海と生きものの声を聴く 16:45~18:15

1 「苦境に立つ海鳥類」



長谷川 博(東邦大学名誉教授・OWS会長)

2 「海と人の関わり」



高砂 洋二(自然写真家・OWS副代表理事)

懇親会 & OWS創立20周年記念パーティー 18:30~21:30 (要事前申込・支払)

セミナー終了後、前フロアの店舗にて「懇親会&OWS創立20周年記念パーティー」を開催します。どなたでもご参加いただけます。(事前お申し込みとお支払いが必要です)

お申し込み・お問い合わせ先 NPO法人OWS

下記、特設WEBサイトのショッピングカートシステムを使ってお申し込みを受け付けています。セミナー(無料)も懇親会(有料※飲食代の実費)もチケットの購入手順にて、お申し込みをお願いします。懇親会の有料チケットのお支払いには、クレジットカード・銀行振込が利用できます。

海のセミナー2018「海の話、サンゴの話」

https://ows-npo.org/event



TEL: 03-6432-9917



参加者数: 110名

普及啓発事業

2018

海のセミナー 2018



海洋ゴミ問題に係る活動

● 写真パネルを使った出前授業(講師派遣)



海洋ゴミ問題に係る活動

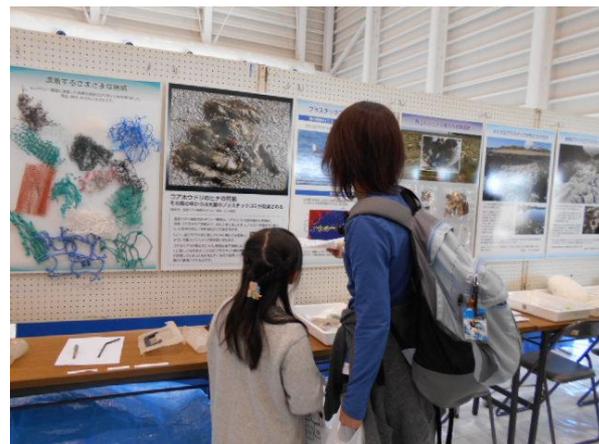
● 企画写真展「海洋ゴミについて考えよう！」

①11月29日

展示会場：宮城県石巻市・遊楽館 「環境フェア」

②11月30日～12月15日

展示会場：宮城県石巻市・渡波小学校
宮城県女川市・女川中学校



● 写真パネルを使った出前授業

開催学校：宮城県石巻市・渡波小学校
宮城県石巻市・鹿妻小学校
宮城県女川市・女川中学校



海洋ゴミ問題に係る活動

● 環境学習用 写真パネルの貸出

	使用する学校・団体・法人名	イベント・プログラム名、授業内容等
1	エギンガーズミーティング実行委員会	エギンガーズミーティング
2	トヨフジ海運株式会社	6月環境月間掲示
3	まいづるクリーンキャンペーン実行委員会	ビーチコーミング&地引き網体験in竜宮浜
4	まいづる環境市民会議	まいづる環境フェスタ2018 ※海洋ごみ問題&プラスチックごみの減量啓発
5	三鷹市立第五中学校	公民の授業
6	一般財団法人みやざき公園協会	サンドフラワーフェスタ 海の環境教室
7	有楽町マルイ	インクルージョンフェス IN有楽町マルイ



貸出先: 7 団体



第7回 子どもフォトコンテスト



● 審査風景



● 最優秀賞



● 入賞作品展



◎ネイチャースクール(城ヶ島)で観察した
マダコを撮影した一枚！

造礁サンゴモニタリング調査

◆各調査の実施

- ①串本 10月
- ②五島 10月
- ③天草 10月
- ④壱岐 11月
- ⑤対馬 11月
- ⑥安良里 12月
- ⑦田子 12月
- ⑧沖ノ島 12月
- ⑨竜串 01月
- ⑩坂田 02月

合計参加者 45名(延べ)

2018

魚類調査

● 魚類調査(全域調査)

コドラート調査数	41カ所
ライン調査数	19カ所



2018

江奈湾干潟保全活動

● モニタリング(観察会)＋ゴミ回収活動

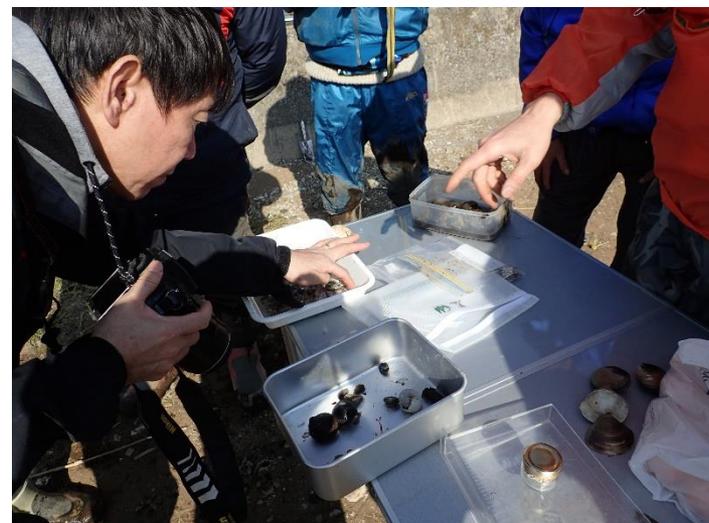
①04月01日 14名

②12月08日 9名

③02月23日 8名

7月28日 ※荒天中止

10月27日 ※荒天中止



延参加者数：31名

2018

江奈湾干潟でのゴミ回収量



7年間 25回の回収

実施年度	回数	回収量(kg)
2012年度	3	1,307.8
2013年度	4	1,051.8
2014年度	6	652.4
2015年度	4	1,109.2
2016年度	3	485.7
2017年度	2	340.4
2018年度	3	916.0
合計	25	5,863.3

5,863 kg

※放置ボート等を除く

2018

江奈湾干潟保全活動

● 干潟生物調査(江奈湾・毘沙門湾干潟)

①05月19日 江奈湾干潟 14名

②05月20日 毘沙門湾干潟 13名
(干潟ネットワーク調査)



延参加者数: 27名



協賛・協力いただいた企業・団体

<助成・活動協賛>

【活動助成】

- ◆東洋ゴム環境基金 対馬サンゴ礁ゴミ回収活動

【活動協賛・協力】

- ◆国立環境研究所 海のセミナー2018 共催
- ◆オリンパス株式会社 海のセミナー2018 協賛
- ◆スキューバプロアジア株式会社 エコメッシュ提供

<業務受託>

- ◆国立環境研究所 造礁サンゴモニタリング調査
- ◆国立環境研究所 魚類調査

<寄付・募金>

- ◆リコージャパン株式会社
- ◆株式会社東京マツシマ
- ◆商船三井客船株式会社

<OWS法人賛助会員(スポンサー)>

- 高砂写真事務所
- パラオ・スプラッシュ
- 株式会社ピクルスコーポレーション
- 株式会社フィットクルー
- 有限会社ロブ・クラシック

2019年度の活動予算

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
環境教育事業	海辺の自然教室の開催 ネイチャースクール(環境学習プログラム)の開催 海辺の漂着物を使ったクラフト教室の開催	5月 6～10月 7月	神奈川 東京 神奈川・東京	658,000
普及啓発事業	会報「季刊エブオブ」の発行 学習教材パネル(海洋ゴミの写真パネル)の貸出 環境をテーマとした写真展の開催 講演「海洋ゴミを考える」の開催 江奈湾干潟関連セミナーの開催(2回) 「未来に残したい海」子どもフォトコンテスト開催	年4回 随時 7～3月 7月 6月 7～12月	全国 全国 関東 関東 神奈川 全国	569,000
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査(国立環境研究所連携) 造礁サンゴ探索調査 魚類調査(国立環境研究所連携)	10～3月 5～11月	全国 関東	4,491,000
環境保全協力事業	江奈湾干潟保全活動(投棄ゴミ・漂着ゴミの回収処分・雑草刈り、ヨシ原管理等) 干潟生物市民調査、モニタリング調査 干潟ネットワーク調査(伊豆半島・下田) 江奈湾アマモ分布ドローン撮影調査	4～3月	関東	247,000